

様式第7号（第6条―第8条関係）

令和 7年 4月 1日

土浦市議会議長 島岡 宏明 殿

会派名及び経理責任者氏名

又は議員氏名

日本共産党土浦市議団 福田 勝夫

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

土浦市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項（第3項）の規定により、次のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 政務活動費 600,000 円

2 支出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	18,000	自治体学校 in 神奈川
広 報 費	393,186	議会報告印刷代他
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	149,250	新聞購読料・書籍他
人 件 費		
事 務 所 費	14,311	プリンターインク代他
合 計	574,747	

3 残 額 25,253 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内容を記載すること。

支払日	内容	費目	収入	支出	差引	備考
2024/4/15	2024年度（令和6年度）政務活動費		600,000		600,000	
2024/4/16	土浦市議団ニュース（4月号）印刷代	広報費		64,294	535,706	17000部
2024/4/17	議会報告会会場費	広報費		875	534,831	3月議会報告
2024/5/29 ・7/21	自治体学校（神奈川）	研修費		18,000	516,831	2024/7/20～21 宿泊費 福田
2024/6/21	土浦市議団ニュース（6月7月号）印刷代	広報費		52,113	464,718	16000部
2024/6/25	土浦市議団ニュース（6月7月号）折込代	広報費		9,941	454,777	新治地域
2024/7/10	自治体学校（神奈川）資料集	資料購入費		14,000	440,777	資料集代 福田
2024/7/18	インクリボン	事務所費		3,839	436,938	福田
2024/7/20	書籍購入	資料購入費		1,200	435,738	「地域から築く自治と公共」
2024/7/20	書籍購入	資料購入費		1,900	433,838	「住民に身近だからこそ輝く自治の軌跡」
2024/9/24	議会報告会会場費	広報費		875	432,963	9月議会報告
2024/10/1	土浦市議団ニュース（10月号）印刷代	広報費		43,575	389,388	16000部
2024/10/2	土浦市議団ニュース（10月号）折込代	広報費		10,052	379,336	新治地域
2024/12/7	プリンターインク代	事務所費		4,389	374,947	福田
2024/12/23	土浦市議団ニュース（1月号）印刷代	広報費		95,490	279,457	26000部
2024/12/25	土浦市議団ニュース（1月号）折込代	広報費		10,040	269,417	新治地域
2025/1/6	土浦市議団ニュース（1月号）折込代	広報費		36,943	232,474	中心市街地
2025/1/6	土浦市議団ニュース（1月号）折込代	広報費		3,694	228,780	神立地域
2025/1/8	朝日新聞	資料購入費		36,000	192,780	4月～12月 福田
2025/1/8	茨城新聞	資料購入費		34,200	158,580	4月～12月 福田
2025/1/8	議会報告会会場費	広報費		2,420	156,160	12月議会報告
2025/3/4	プリンターインク代	事務所費		1,694	154,466	古沢
2025/3/12	朝日新聞・茨城新聞	資料購入費		23,400	131,066	1月～3月 福田
2025/3/22	東京新聞	資料購入費		38,550	92,516	4月～3月 古沢
2025/3/23	プリンターインク代	事務所費		4,389	88,127	福田
2025/3/27	土浦市議団ニュース（4月号）印刷代	広報費		45,449	42,678	17000部
2025/3/27	土浦市議団ニュース（4月号）折込代	広報費		10,038	32,640	毎日新聞 新治地域
2025/3/28	土浦市議団ニュース（4月号）折込代	広報費		7,387	25,253	アイコー21 5中地域
	合計		600,000	574,747	25,253	

共産党土浦市議団研修費収支報告書

政新会

令和6年7月20日～7月21日  
場所：神奈川県 参加者：福田 勝夫

年月日	使 途	支出金額 (単位：円)	内 訳 (単位：円)		備 考
			政務活動費	会派負担	
5月29日	宿泊代金	19,800	14,000	5,800	宿泊費上限14,000円
7月21日	自治体学校（神奈川）現地分科 会参加費	4,000	4,000		再編強化進む神奈川県の基地めぐり
合計		23,800	18,000	5,800	

領 収 証

日本共産党土浦市議団

福田勝夫 様

受付No. 9

発行日 2024年5月29日

金額 ￥ 19,800 (税込)

但 第66回自治体学校in神奈川宿泊代金として

有限会社 勤労者レクリエーション協会

〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-8-2 KK

TEL : 03-3984-0401

FAX : 03-3984-0407

担当 :

2024/7/10

## 領収証

日本共産党土浦市議団 福田勝夫様

¥14,000 円

但し、「第66回自治体学校 in 神奈川」(2024年7月20日~21日)資料集代  
として、上記正に領収いたしました。

参加者ご氏名：日本共産党土浦市議団 福田勝夫 様 受付番号(700)

第66回自治体学校実行委

学校長 川瀬

〒162-

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4階

自治体問題研究所内

TEL03-3235-5941 FAX03-3235-5933

## 領収証

¥0 円

但し、「第66回自治体学校 in 神奈川」(2024年7月21日)昼食お弁当代  
として、上記正に領収いたしました。

第66回自治体学校実行委

学校長 川瀬

〒162-

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4階

自治体問題研究所内

TEL03-3235-5941 FAX03-3235-5933

**参加費・神奈川県内参加費特例**

	参加区分	個人会員		会員外 (「住民と自治」読者会)	
		個人会員	12,000円	14,000円	7,000円
ZOOM参加も同額	2日間参加	12,000円	14,000円	7,000円	
	1日参加	6,000円			
3人以上の団体でZOOM参加	2日間参加	30,000円			
	1日参加	20,000円			
自治労連組合員でサテライト会場参加		6,000円			
神奈川県内参加費	現地からの一般参加 (県・市議会議員除く)	3,000円			



横浜市開港記念会館(ジャックの塔) ©横浜観光情報

\*昼食弁当は別途1,100円。  
\*現地分科会の参加費は、当日現地で現金支払い。  
\*ZOOMで参加される方には、レジュメをメールにてご送付いたします。

**新規入会者特典**

●神奈川県内で2日間参加される方で、自治体学校を機に自治体問題研究所(都道府県ごとの地域研究所)に新規入会される方には、当日受付で入会申込書と引き換えに、初年度会費から4,000円を差し引かせていただきます。

**申し込み要項**

●受付開始 5月1日(水) 午前10:00  
●締め切り 7月12日(金) 正午

\*お早めにお申し込みください。分科会は定員制(先着順)です。  
\*お弁当の受付締め切り日も同じです。  
\*キャンセルの際は、ご入金の有無に関わらず必ずご連絡ください。開催日の8日前からキャンセル料が発生します。詳しくは、ホームページをご覧ください。受付締め切り後のお申込みはできませんのでご注意ください。

●お申し込みは、QRコードあるいはホームページからお願いします。  
ホームページ <https://www.jichiken.jp/>  
\*ホームページからの申し込みが難しい方は、第66回自治体学校事務局へご連絡ください。他の申し込み方法をお知らせします。  
\*事務局連絡先  
TEL 03-3235-5941 FAX 03-3235-5933  
E-mail: info@jichiken.jp



**憲法がいきる  
地方自治の発展へ向けた  
学びと交流**

横浜港 ©横浜観光情報

**宿泊について**

●宿泊は、各自で手配をお願いします。なお、(労働者レクリエーション協会)で、一部宿泊施設を押さえておりますので、必要な方は労働者レクリエーション協会へお問い合わせください。  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-8-2 KKビル2F TEL 03-3984-0401 FAX 03-3984-0407  
お問合せ対応時間 平日10:00~17:00 受付期間 2024年5月1日(水)~6月20日(木)

**2日目分科会の昼食について**

●7月21日(日) 弁当をご注文いただくことができます。参加申込の際、お申し込みください。なお、現地分科会にご参加の方は、それぞれの会場で用意しますのでお申込みの必要はありません。

**主催●第66回自治体学校実行委員会**

共催団体●自治体問題研究所/北海道地域・自治体問題研究所/オホーツク地域自治研究所/青森県地域自治体問題研究所/岩手地域総合研究所/福島自治体問題研究所/茨城県自治体問題研究所/とちぎ地域・自治研究所/ぐんま住民と自治研究所/埼玉自治体問題研究所/千葉県自治体問題研究所/東京自治問題研究所/多摩住民自治研究所/にいがた自治体研究所/富山県自治体問題研究所/いしかわ自治体問題研究所/長野県住民と自治研究所/静岡県地方自治研究所/東海自治体問題研究所/滋賀自治体問題研究所/京都自治体問題研究所/大阪自治体問題研究所/兵庫県自治体問題研究所/奈良自治体問題研究所/和歌山県地域・自治体問題研究所/とっとり地域自治研究所/しまね地域自治研究所/岡山県自治体問題研究所/広島自治体問題研究所/徳島自治体問題研究所/香川県自治体問題研究所/愛媛県自治体問題研究所/高知自治体問題研究所/福岡県自治体問題研究所/NPO法人くまもと地域自治体研究所/長崎県地域・自治体研究所/みやざき住民と自治研究所/おきなわ住民自治研究所

事務局●第66回自治体学校実行委員会事務局 〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階 自治体問題研究所内 神奈川県自治体問題研究所 TEL 03-3235-5941 FAX 03-3235-5933 E-mail: info@jichiken.jp

**会場へのアクセス**

会場	住所・電話番号	アクセス・ほか
全体会 横浜市鶴見公会堂	横浜市鶴見区豊岡町2-1 フーガビル 西友6階 電話 045-583-1353	JR京浜東北線「鶴見駅」西口下車 徒歩1分。 ・「新横浜駅」から「鶴見駅」は、横浜線と京浜東北線利用で20分 ・「横浜駅」から「鶴見駅」は、京浜東北線利用で10分 ・「品川駅」から「鶴見駅」は、京浜東北線利用で18分
全体会・サテライト会場 横浜市健康福祉総合センターホール	横浜市中区桜木町1-1 電話 045-201-2060	JR桜木町駅(南改札西口) 徒歩5分
分科会 横浜市立大学 金沢八景キャンパス	横浜市金沢区瀬戸22-2 電話 045-787-2311	京浜急行線「金沢八景駅」下車徒歩5分 ・「横浜駅」から京浜急行快特・特急で約20分 ・「品川駅」から京浜急行快特・特急で約40分
現地分科会13 神奈川県立神奈川高等学校	横浜市神奈川区沢渡21 電話 045-311-0689	横浜駅西口から徒歩10分

みんなが先生 みんなが生徒  
第66回 **自治体学校** in 神奈川

横浜市鶴見公会堂/サテライト会場 横浜市健康福祉総合センターホール  
横浜市立大学 金沢八景キャンパス

2024年7月20日(土)・21日(日)

1日目●全体会 7月20日(土) 13:15~17:15 ZOOMウェビナー配信  
横浜市鶴見公会堂/サテライト会場 横浜市健康福祉総合センターホール



基調講演  
地方自治と地域 この1年から考える

自治体問題研究所理事長・奈良女子大学名誉教授  
中山 徹

記念講演  
紛争地、被災地に生きる人々の声  
—取材から見えてきたこと

フォトジャーナリスト・認定NPO法人 Dialogue for People 副代表  
安田菜津紀



主催●第66回自治体学校実行委員会

# 1日目 全体会 7月20日(土) 13:15~17:15

横浜市鶴見公会堂 / サテライト会場 横浜市健康福祉総合センターホール

(ZOOM ウェビナー配信あり)

2:30 開場  
3:15~ 開校あいさつ 川瀬憲子(学校長) / 政村 修(現地実行委員長)

3:35~ 来賓あいさつ

3:40~ 基調講演  
**地方自治と地域 この1年から考える**

中山 徹(自治体問題研究所理事長・奈良女子大学名誉教授)

この1年、地方自治や地域で注目しておきたい動きは何か、それらをおさらいしながらこれからの方策について考えます。

5:05~ 記念講演  
**紛争地、被災地に生きる人々の声**  
—取材から見えてきたこと

安田菜津紀(フォトジャーナリスト・認定NPO法人 Dialogue for People 副代表)

シリアやウクライナでは過酷な戦争が終わりず、パレスチナ・ガザ地区では昨年来の侵攻で犠牲者が増え続けています。果たしてそれは、海の向こうの遠い問題なのでしょうか？ 東日本大震災で被災地となった岩手県陸前高田市で出会った人々のある行動が、遠いと思われがちな地との心の距離を縮めてくれました。こうした取材を写真でお伝えしながら、私たちがどんな未来を選んでいきたいのかを、改めて考えたいと思います。

6:15~ リレートーク  
**地域と自治体 最前線**

日本自治体労働組合総連合からの報告  
いしかわ自治体問題研究所

—能登半島地震被災地からの報告  
神奈川自治体問題研究所現地からの報告

7:00~ 次回開催地代表あいさつ  
7:05~ 全体会終了あいさつ 小山国治(実行委員長)  
7:15 1日目全体会終了



全体会会場：  
鶴見公会堂 西友6階

# 2日目 分科会・講座 7月21日(日) 9:30~15:30

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

分科会

1 ● 公務労働者の現状と課題  
—長時間労働と非正規労働者の視点から— (リアル・ZOOM 同時開催)



助言者：嶋林弘一(自治労連賃金権利局長)  
震災で露呈した公務公共の脆弱性～失われた30年間で公務員改革が正規職員と非正規職員双方に強い苦難。今、公務サービスに何が問われ、どうい運動が必要か～自治体で地方自治回復のために、公務労働者の労働と任用実態を吟味しながら、熱い議論をしましょう。

2 ● 社会保障・社会福祉における生存権保障の課題を考える



助言者：豊島明子(南山大学教授)  
現在、福祉と介護の法政策は、保険主義(共助)と住民同士の助け合い(互助)を重視しています。一方、生活保護基準引き下げの違憲・違法をめぐる裁判が争われ、各地で原告勝訴判決が相次いでいます。これらを踏まえ、福祉・介護・生活保護に焦点を当て、今、住民の生存権保障についてどのような課題があるのかを考えます。

3 ● コロナ後の持続可能な地域づくり



助言者：関 耕平(島根大学教授)  
新型コロナウイルスによって地域を取り巻く環境は大きく変化しました。コロナ後と言われる今、地域づくりをどのように進めるべきか、住民、企業、商店、自治体職員、議員などがそれぞれの立場から客観的に分析し考えることが求められています。各地の事例を参考にコロナ後の持続可能な地域づくりについて学び合ひましょう。

4 ● 自治体 DX における「個人情報」の適正な取扱いへむけて



助言者：稲葉一将(名古屋大学教授)  
岸田首相はデジタル行財政改革会議で、自治体が個別に調達してきた行政システムを、ICT企業が提供するSaaS型クラウドシステムに移行する方針を明らかにしました。政府は、かねて骨太方針などで個人情報を「公共財」と位置づけ、利活用を進めようとしてきたからです。この場合に課題になる「個人情報の適正な取扱い」について、本分科会はSaaS利用に即した施策を検討します。

5 ● 少子化克服に向けた、政府と自治体の公的責任を考える



助言者：中山 徹(自治体問題研究所理事長・奈良女子大学名誉教授)  
想定以上のスピードで進む少子化に対し、政府は「異次元の少子化対策」を進めるとして、「子ども未来戦略方針」を決定しています。少子化の実態と政府の対策の問題点、少子化を克服するための抜本的な対策を明らかにするとともに、政府・自治体の公的責任と役割、保育所のあり方について考えます。

6 ● 自治体民営化のゆくえ—「公共」の変質と再生



助言者：尾林芳匡(弁護士)  
自治体が自治体でなくなる一窓口業務・体育施設・公園・図書館・保育・学校プールなど自治体の民営化が進む中で、住民の財産である「公」のサービスが企業の収益の対象となって変質しつつあります。独法化された公立病院・公園PFIなどの弊害を明らかにするとともに、自治体労働者や住民運動の力で食い止めるなどの経験を交流し、再生への展望を明らかにします。

7 ● 学校統廃合・小中一貫教育と学校を守る住民の運動



助言者：山本由美(和光大学教授)  
コスト削減・「効率性」優先で、教育論を欠いた学校統廃合や小中一貫教育が各地で進行しています。背景には、公共施設等総合管理計画など新自由主義的な地域再編があります。プール廃止、施設複合化・民営化も進んでいます。こうした動きの狙いを学ぶとともに、対抗軸の住民運動の経験を交流し、学校を守る共同について考えます。

8 ● 公共交通の改善・充実で地域づくりを



助言者：西村 茂(金沢大学名誉教授)  
近年、コロナ禍、少子高齢化、中山間地域の人口減、利用者減、赤字路線増加などで公共交通機関の減便・廃止や運賃値上げが相次ぎ、買い物や通院通学が困難な「交通弱者」が増え深刻な問題になっています。国民の「交通権」を保障し、どの地域でも安心して住み続けられるまちづくりをともに考えてみたいと思います。

9 ● 震災と水道事業「いのちの水を送りつづける」(リアル・ZOOM 同時開催)



助言者：近藤夏樹(自治労連公営企業評議会事務局長)  
大震災が起きるたび、水の大事さがクローズアップされます。しかし、国が進める官民連携と広域化により上下水道事業者から技術・技能が失われ、震災対応能力も奪われてきました。東南海トラフ地震が迫る中、地震大国日本のライフラインをまもる公営水道の対応能力は維持できるのでしょうか。

10 ● 地域・自治体から、脱炭素社会への転換をめざして



助言者：傘木宏夫(NPO 地域づくり工房)  
気候危機のもとで、各地で深刻な風水害が頻発し、住民の暮らしや生業に深刻な影響を与えています。気候危機打開に向けて、化石燃料・原発依存社会から脱炭素社会への転換が待たなしの課題になっています。全国の住民・地域主導の再エネ・省エネ事業の取り組みにも学びながら、地域社会や自然環境とも共存した地域循環型のまちづくり、脱炭素社会への転換について考えます。

講座(午前) 地方自治のしくみと法



講師：岡田正則(早稲田大学教授)  
1999年の地方分権改革によって国と地方の対等化が図られましたが、辺野古埋立てにおける国の代執行にみられるように、日本の地方自治はまだ道半ばです。また、住民自治の面でもさまざまな課題に直面しています。本講座では、地方自治の理念と歴史を概観した後、地方自治法の条文に沿って、これらの課題を考えます。

講座(午後) 自治体財政のしくみと課題



講師：川瀬憲子(自治体学校長・静岡大学教授)  
新しく地方議員になられた皆さま、財政構造を知りたい自治体職員や市民団体の皆さまに、自治体財政の基本的なしくみを解説した上で、「集権型システム」ともいべき国と地方の財政関係、「地方創生」政策や自治体DX化、公共施設統廃合、少子化対策、災害対応などの諸課題について、具体的事例を交えながらわかりやすく解説します。

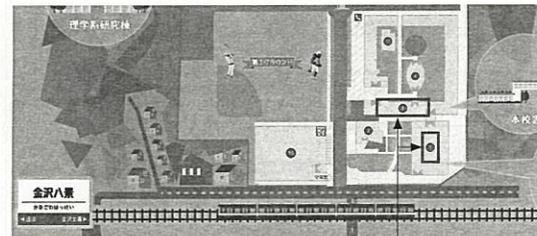
## 現地分科会

A ● 排外主義を乗り越える足元からの国際連帯

助言者：金 燦 旭(キムチャンヌ)(神奈川朝鮮中高級学校校長)  
全国の朝鮮学校は公的補助金が凍結された影響で、財政的な窮状と学習権の侵害が続いています。日本で生まれた朝鮮人に民族アイデンティティーを育む朝鮮学校へ「拉致問題」を理由に補助金を停止した自治体の対応をどう見るか。海外にルーツを持つ住民との連帯と共生の問題を考えます(定員：70人)。  
・現地分科会経費 3,000円(昼食代含む)。学生は1,000円。現地で集金します。  
・会場・集合時間 神奈川朝鮮中高級学校(横浜駅西口から徒歩10分)・9時30分。

B ● 再編強化進む神奈川の基地めぐり

現地案内：家子 寿(神奈川県平和委員会)  
沖繩に次ぐ基地県と言われる神奈川では、安保3文書の改訂後、基地の強硬化計画のもとで急速に再編強化が進んでいます。揚陸艇部隊が新設される横浜ノースドック、原子力空母の母港50年の横須賀、米陸軍作戦司令部が置かれているキャンプ座間などを見て平和な日本を築く運動の交流をします(バス代含む：40人)。  
・現地分科会経費 5,000円(バス代、昼食代含む)。現地で集金します。  
・集合場所・集合時間 横浜駅西口ビブレ前・9時。



分科会会場：  
横浜市立大学 金沢八景キャンパス  
③本校舎と① YCU スクエア

領 収 書

日本共産党 土浦市議団

2024年 7月 20日

福田 勝夫 様

¥1200—

但し 『地域から築く自治と公共』代として  
上記正に領収いたします。

内訳 税抜金額 1091 円

消費税額等 (10%) 109 円

全体会 登録番号 T8-0111-0100-9038

㈱自治体研究社

連絡先: 〒162-8512 東京都新宿区矢来町 123 電話 03-3235-5941

領 収 書

日本共産党 土浦市議団

2024年 7月 20日

福田 勝夫 様

¥1900—

但し 『住民に身近だからこそ輝く自治の軌跡』代として  
上記正に領収いたします。

内訳 税抜金額 1727 円

消費税額等 (10%) 173 円

社会教育 登録番号 T8-0111-0100-9038

㈱自治体研究社

連絡先: 〒162-8512 東京都新宿区矢来町 123 電話 03-3235-5941

領収書

日本共産党  
土浦市議団  
福田 勝夫

様

¥ 4,000 円

但し 現地分科会 参加費  
再編強化基町神奈川県の  
基地めぐり

2024年 7月 21日

第 66 回 自治体学校



# 領収証

No. 456631211375

2025年1月6日

日本共産党土浦市議団

様

金額

¥3,740-

但 1/9折込代として (補正地域)

上記の金額正に領収いたしました

8%対象税込合計 ¥0

消費税等 ¥0

10%対象税込合計 ¥3,740

消費税等 ¥340

ico 株式会社 アイコ-21

〒300-0847 茨城県土浦市卸町2-7-13

TEL029-843-8324 / FAX029-843-8698

【登録番号】T6-0500-0100-8858

扱者

# 領収証

No. 456631211375

2025年1月6日

日本共産党土浦市議団

様

金額

¥37,400-

但 1/8折込代として (中心市街地)

上記の金額正に領収いたしました

8%対象税込合計 ¥0

消費税等 ¥0

10%対象税込合計 ¥37,400

消費税等 ¥3,400

ico 株式会社 アイコ-21

〒300-0847 茨城県土浦市卸町2-7-13

TEL029-843-8324 / FAX029-843-8698

【登録番号】T6-0500-0100-8858

扱者

領収証

日本共産党土浦市議員

様

No.

金額									
		¥	1	0	1	6	7		

取入

印紙

内訳

現金

小切手

手形

消費税額等(%)

但折込代

〇年12月25日

上記正に領収いたしました

毎日新聞

土浦北部専売所

〒300-0055 茨城県土浦市殿里554-1

TEL029-822-6210

FAX029-823-9722

T3810159311797



# 領収証

No. 457441211375

2025年3月28日

日本共産党土浦市議団

様

金額

¥7,480-

但 4/2折込代として

上記の金額正に領収いたしました

8%対象税込合計 ¥0

消費税等 ¥0

10%対象税込合計 ¥7,480

消費税等 ¥680

ico 株式会社 アイコ-21

〒300-0847 茨城県土浦市御町2-7-13

TEL029-843-8324 / FAX029-843-8698

【登録番号】T6-0500-0100-8858

扱者

06. 5月議会ニュース

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年04月15日	お問い合わせNo. : 5184-6839-7230	個数 : 6
お届け先 日本共産党 土浦市議団 福田 勝夫	代引金額 (消費税含)	¥65,540	80 サイズ	100 サイズ
	消費税等	¥5,968		
二依頼主 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントパック TEL0120-977-920	様	上記代金を領収致しました。 領収日 24年4月16日	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便	
	様	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 飛脚フリーサイズパッケージ	
品名・荷姿 【印刷物】土浦市議団ニュース2024年4月号 17000部 ■ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便同合 TEL027-352-9330	税金 付 印 紙 集金代行者印	と致します。	
領収書発行者 佐川フィナンシャル(株) 東京都江東区新砂1-8-10		集金代行者 佐川急便(株) 京都市南区上鳥羽角田町68番地		

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年04月15日	お問い合わせNo. : 5184-6839-7230	個数 : 6
お届け先 日本共産党 土浦市議団 福田 勝夫	代引金額 (消費税含)	¥65,540	80 サイズ	100 サイズ
	消費税等	¥5,968		
二依頼主 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントパック TEL0120-977-920	様	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便	
	様	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 飛脚フリーサイズパッケージ	
品名・荷姿 【印刷物】土浦市議団ニュース2024年4月号 17000部 ■ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便同合 TEL027-352-9330	税金 付 印 紙 集金代行者印	と致します。	
領収書発行者 佐川フィナンシャル(株) 東京都江東区新砂1-8-10		集金代行者 佐川急便(株) 京都市南区上鳥羽角田町68番地		

06.6月議会ニュース

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年06月20日	お問い合わせNo. : 5184-7567-7790 個数 : 6
お届け先 [REDACTED] 日本共産党 土浦市議団 福田 勝夫	代引金額 (消費税含)	¥53,280	80 サイズ
	消費税等	¥4,844	
一任依頼主 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	上記代金を領収致しました。 領収日 24年6月21日		100 サイズ
	<input checked="" type="checkbox"/> 大決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便 <input type="checkbox"/> 飛脚フリーサイズパッケージ		140 サイズ
品名・荷姿 印刷物 土浦市議団ニュース2024年6月7月号 1000部 ヨビ同時 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL0570-01-0627	税務署承認済 付につき下京 印紙税申告納	集金代行者印
領収書発行者 佐川フィナンシャル(株) 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 佐川急便(株) 京都市南区上鳥羽角田町18番地		クレジットローンでのお支払いは非課税です	集金代行者印なきものは無効です

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		4年06月20日	お問い合わせNo. : 5184-7567-7790 個数 : 6
届先 [REDACTED] 日本共産党 土浦市議団 福田 勝夫	代引金額 (消費税含)	¥53,280	80 サイズ
	消費税等	¥4,844	
一任依頼主 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日		100 サイズ
	<input checked="" type="checkbox"/> 大決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便 <input type="checkbox"/> 飛脚フリーサイズパッケージ		140 サイズ
品名・荷姿 印刷物 土浦市議団ニュース2024年6月7月号 1000部 ヨビ同時 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL0570-01-0627	税務署承認済 付につき下京 印紙税申告納	集金代行者印
領収書発行者 佐川フィナンシャル(株) 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 佐川急便(株) 京都市南区上鳥羽角田町18番地		クレジットローンでのお支払いは非課税です	集金代行者印なきものは無効です

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年09月30日	お問い合わせNo. : 5184-7157-4401 個数 : 4
〒300-0817 茨城県南部地区委員会 日本共産党 土浦市議団	代引金額 (消費税含)	¥44,060	80 サイズ
	消費税等	¥4,006	
京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	上記代金を領収致しました。 領収日 〇〇年 〇〇月 〇〇日		100 サイズ
	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便 <input type="checkbox"/> 飛脚フリーサイズパッケージ		
【印刷物】土浦202410 16000部 【ヨビ同封】 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL027-352-9330	印紙税申告納 付につき下京 税務署承認済	集金代行者印
領収書発行者 佐川フィナンシャル株 集金代行者 佐川急便株	東京都江東区新砂1-8-10 京都市南区上鳥羽角田町68番地	外・ジロ・ローンでのお 受け付けは非課税です	集金代行者印なき 枚は無効です

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年09月30日	お問い合わせNo. : 5184-7157-4401 個数 : 4
〒300-0817 茨城県南部地区委員会 日本共産党 土浦市議団	代引金額 (消費税含)	¥44,060	80 サイズ
	消費税等	¥4,006	
京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日		100 サイズ
	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便 <input type="checkbox"/> 飛脚フリーサイズパッケージ		
【印刷物】土浦202410 16000部 【ヨビ同封】 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL027-352-9330	印紙税申告 付につき下京 税務署承認済	集金代行者印
領収書発行者 佐川フィナンシャル株 集金代行者 佐川急便株	東京都江東区新砂1-8-10 京都市南区上鳥羽角田町68番地	外・ジロ・ローンでのお 受け付けは非課税です	集金代行者印なき 枚は無効です

06.9月議会ニュース

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年12月27日	お問い合わせNo. : 5184-8136-0176 個数 : 9
5778 茨城県南部地区委員会 日本共産党 土浦市議団	代引金額 (消費税含) ¥96,670		80 サイズ
様	消費税等 ¥8,788		100 サイズ
京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日		140 サイズ
様	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便 <input type="checkbox"/> 飛脚フリーサービスパッケージ		
【印刷物】土浦市市議団ニュース 6000部 ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日も受取可】	佐川急便同合 TEL027-352-9330	税務署承認済 付につき下京	印紙税申告納 付につき下京
領収書発行者 佐川フィナンシャル㈱ 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 佐川急便㈱ 東京都南区上島羽角田町68番地		外シロートでのお支払いは非課税です	集金代行者印 集金代行者印なきものは無効です

06.12.27

<b>送り状 兼代引金額領収書</b>		発送日 : 24年12月22日	お問い合わせNo. : 5184-8136-0176 個数 : 9
5778 茨城県南部地区委員会 日本共産党 土浦市議団	代引金額 (消費税含) ¥96,670		80 サイズ
様	消費税等 ¥8,788		100 サイズ
京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	上記代金を領収致しました。 領収日 24年12月22日		140 サイズ
様	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便 <input type="checkbox"/> 飛脚フリーサービスパッケージ		
【印刷物】土浦市市議団ニュース 26000部 ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日も受取可】	佐川急便同合 TEL027-352-9330	税務署承認済 付につき下京	印紙税申告納 付につき下京
領収書発行者 佐川フィナンシャル㈱ 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 佐川急便㈱ 東京都南区上島羽角田町68番地		外シロートでのお支払いは非課税です	集金代行者印 集金代行者印なきものは無効です

**代引金額領収書**

2024年12月23日 集金代行者 佐川急便 土浦営業所  
TEL 0570010478

お問合せ送り状No.  
5184-8136-0176

【決済金種】  
✓:現金

代引金額 (税込)  
¥96,670-  
内消費税:8,788円  
上記金額を領収いたしました。

税務署承認済  
付につき下京  
印紙税申告納

※本帳票は請求書としてご利用いただけません。  
※この商品代金の領収書は二依頼主の委託により発行するものと致します。  
※商品及び代金の内容に関しては二依頼主にお問合せ下さい。  
※領収内容を修正したものは無効となります。  
領収書発行者:SGシステム(株)東京都江東区新砂1丁目8番2号  
集金代行者:佐川急便(株)東京都南区上島羽角田町68番地



## 広報費の支出に伴う政務活動費充当計算について

日本共産党土浦市議団

2024年4月号、6・7月号、10月号、2025年1月号、4月号として発行した会派広報紙にかかる支出について、政務活動費の充当計算を行いましたので、報告いたします。

政務活動費を充当しない箇所は、個人写真の一部と、表面最下段の「困りごと相談受付及び連絡先」、「所属議員名及び連絡先」です。各紙当該部分を除き、政務活動費として支出いたします。

なお、チラシ折込代につきましても、按分計算といたします。

### 【按分の算出計算について】

4月号 全体面積（表面・裏面） $363 \text{ ミリ} \times 257 \text{ ミリ} \times 2 = 186,582 \text{ 平方ミリ} \dots A1$

#### ◆個人写真

紙面：縦  $363 \text{ ミリ} \times$  横  $257 \text{ ミリ}$  ( $1/5 = 72.6 \text{ ミリ} \times 51.4 \text{ ミリ} = 3,732 \text{ 平方ミリ}$ )

古沢  $\rightarrow 62 \text{ ミリ} \times 64 \text{ ミリ} = 3,968 \text{ 平方ミリ}$

$\rightarrow 3,968 - 3,732 = 236 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{1}$

◆困りごと相談受付及び連絡先  $20 \text{ ミリ} \times 55 \text{ ミリ} = 1,100 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{2}$

◆所属議員名及び連絡先  $33 \text{ ミリ} \times 67 \text{ ミリ} = 2,211 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{3}$

$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} = 3,547 \text{ 平方ミリ} \dots B1$

$B1 \div A1 = 1.9\%$

6・7月号 全積（表面・裏面） $363 \text{ ミリ} \times 256 \text{ ミリ} \times 2 = 185,856 \text{ 平方ミリ} \dots A 2$

◆個人写真

紙面：縦  $363 \text{ ミリ} \times$  横  $256 \text{ ミリ}$  ( $1/5 = 72.6 \text{ ミリ} \times 51.2 \text{ ミリ} = 3,717 \text{ 平方ミリ}$ )

古沢→ $66 \text{ ミリ} \times 63 \text{ ミリ} = 4,158 \text{ 平方ミリ}$

→ $4,158 - 3,717 = 441 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{4}$

福田→ $62 \text{ ミリ} \times 65 \text{ ミリ} = 4,030 \text{ 平方ミリ}$

→ $4,030 - 3,717 = 313 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{5}$

◆困りごと相談受付及び連絡先  $20 \text{ ミリ} \times 55 \text{ ミリ} = 1,100 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{6}$

◆所属議員名及び連絡先  $33 \text{ ミリ} \times 67 \text{ ミリ} = 2,211 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{7}$

$\textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} + \textcircled{7} = 4,065 \text{ 平方ミリ} \dots B 2$

$B 2 \div A 2 = 2.19\%$

10月号 全体面積（表面・裏面） $273 \text{ ミリ} \times 380 \text{ ミリ} \times 2 = 207,480 \text{ 平方ミリ} \dots A 3$

◆困りごと相談受付及び連絡先  $18 \text{ ミリ} \times 56 \text{ ミリ} = 1,008 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{8}$

◆所属議員名及び連絡先  $13 \text{ ミリ} \times 98 \text{ ミリ} = 1,274 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{9}$

$\textcircled{8} + \textcircled{9} = 2,282 \text{ 平方ミリ} \dots B 3$

$B 3 \div A 3 = 1.1\%$

1月号 全体面積（表面・裏面） $257 \text{ ミリ} \times 364 \text{ ミリ} \times 2 = 187,096 \text{ 平方ミリ} \dots A 4$

◆困りごと相談受付及び連絡先  $18 \text{ ミリ} \times 56 \text{ ミリ} = 1,008 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{10}$

◆所属議員名及び連絡先  $13 \text{ ミリ} \times 98 \text{ ミリ} = 1,274 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{11}$

$\textcircled{10} + \textcircled{11} = 2,282 \text{ 平方ミリ} \dots B 4$

$B 4 \div A 4 = 1.22\%$

4月号 全体面積（表面・裏面） $273 \text{ ミリ} \times 384 \text{ ミリ} \times 2 = 209,664 \text{ 平方ミリ} \dots A 5$

◆困りごと相談受付及び連絡先  $19 \text{ ミリ} \times 60 \text{ ミリ} = 1,140 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{12}$

◆所属議員名及び連絡先  $14 \text{ ミリ} \times 104 \text{ ミリ} = 1,456 \text{ 平方ミリ} \dots \textcircled{13}$

$\textcircled{12} + \textcircled{13} = 2,596 \text{ 平方ミリ} \dots B 5$

$B 5 \div A 5 = 1.24\%$

	支払金額	按分により対象外となる金額	政務活動費充当額
土浦市議団ニュース (4月号)印刷代	65,540	1,246	64,294
土浦市議団ニュース (6・7月号)印刷代	53,280	1,167	52,113
土浦市議団ニュース (6・7月号)折込代	10,164	223	9,941
土浦市議団ニュース (10月号)印刷代	44,060	485	43,575
土浦市議団ニュース (10月号)折込代	10,164	112	10,052
土浦市議団ニュース (1月号)印刷代	96,670	1,180	95,490
土浦市議団ニュース (1月号)折込代	10,164	124	10,040
土浦市議団ニュース (1月号)折込代	37,400	457	36,943
土浦市議団ニュース (1月号)折込代	3,740	46	3,694
土浦市議団ニュース (4月号)印刷代	46,020	571	45,449
土浦市議団ニュース (4月号)折込代	10,164	126	10,038
土浦市議団ニュース (4月号)折込代	7,480	93	7,387

申立書

土浦市議団ニュースには、2025年4月号と記載  
されていますが、内容は3月議会報告といたします。  
3月27日より配布を実行致します。

宜しくお願ひ致します。

共産党土浦市議団

代表者 古沢喜幸 

## 常磐道・スマートICの設置

# 「メリット全くなし」9億円超のムダ遣い 古沢議員 現地調査で明らかに「取りやめ」求める

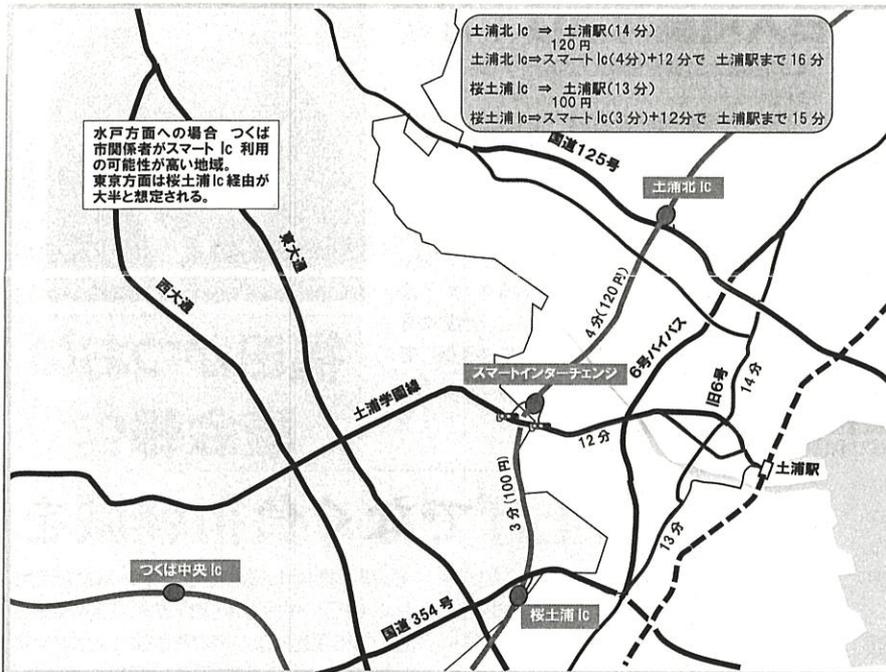
古沢よしゆき議員は会派代表質問で、安藤真理子市長が重点施策として総額9億6千万円超の予算をつける常磐道のスマートインターチェンジ(IC)の設置問題を取り上げ、「メリットは全くない」として取りやめるよう求めました。

スマートICは、現在ある桜土浦IC—土浦北IC間の、7.5%のほぼ中間地点に設ける事業。古沢議員は、わずか7.5%しかない箇所は3カ所目となるICは分不相応」と批判。新たなICが必要なのか、古沢議員自らが車を運転し、3つのICからそれぞれ土浦駅までの所要時間を調べた結果を報告しました。

### スマートICを使わない方が時間も短く、料金も安い

古沢議員の現地調査によると、東京方面から来て土浦駅へ行く場合、桜土浦ICからスマートIC(推定地)経由では15分、桜土浦ICから直接では13分。水戸方面から来る場合も、土浦北ICからスマートIC経由で16分、土浦北ICから直接では14分で、いずれもスマートIC経由の方が、時間がかかることが判明しました。

しかも料金が、それぞれ100円、120円分高くなることも明らかになりました(図参照)。



## 古沢よしゆきの 議会報告



代表質問をする古沢議員=3月11日

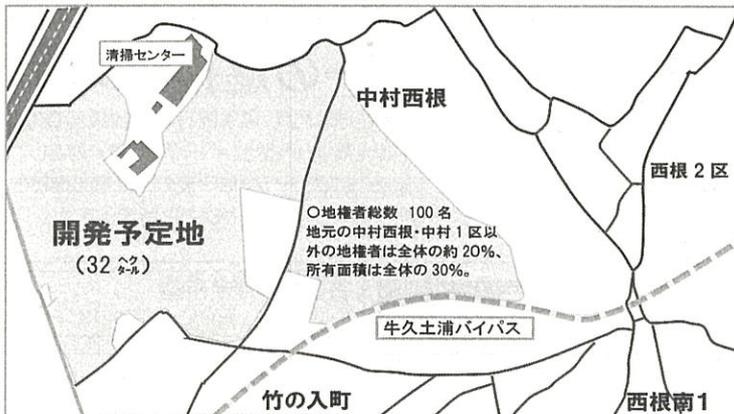
古沢議員は「土浦市に来るほとんどのドライバーはスマートICを利用しないだろう」と指摘し、メリットがあるというなら具体的に述べるよう答弁を求めました。

### 安藤市長 具体的に答えられず

答弁に立った安藤市長は、古沢議員による現地調査の結果には最後まで触れずまい。具体的な根拠も示さず、スマートICの設置で「利便性の向上や企業誘致の促進などがはかられ、地域経済の活性化が期待される」と答弁しました。

古沢議員は、現地調査をもとに「地権者やつくば市を喜ばす9億円を超える支出は控えるべきであり、この計画をきっぱりあきらめる以外に選択肢はない」「大幅

### インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業 63,943千円



値上げが提案されている国保財政に予算を回し、値上げ幅を低くおさえるべきではないか。その方がよほど市民に喜ばれる」と述べ、安藤市長にスマートICの設置をやめるよう強く求めました。

### つくば市の事業を土浦市が肩代わり

古沢議員は反対討論で、「先の見えない不確かな事業に市民の税金を投入すべきではありません」。さらに「スマートICを利用する割合は、つくば市が9割、土浦市が1割くらいに想定される。スマートICの上りと下りの進入口はどちらもつくば市内であり、本来ならばつくば市の事業を、土浦市が肩代わりすべきでない」と、指摘しました。

なお、中村西根のIC周辺地区土地利用促進事業については、未利用の山林であることから、日本共産党市議団は賛成しました。

# 土浦市、国保税を大幅値上げ 共産党だけが反対

## 均等割を49%増額 人数の多い世帯ほど負担増

土浦市は新年度から国保税を値上げする条例改正案を市議会の第1回定例会(3月議会)に提出、議会はこれを採択しました。日本共産党市議団だけが反対しました。これにより国保税は1人当たり平均年6,270円増の107,017円、1世帯当たり平均14,640円増の157,061円となります。均等割部分を値上げしたため、人数の多い世帯ほど負担増となります(右にモデルケース)。

市は一昨年度以来、財政調整基金から繰り入れて値上げを抑えてきましたが、今年度からは「安定的な財政を行う」として値上げに踏み切りました。高すぎる国保税を引き下げると、市のムダな支出を抑えようと、国による公費投入が緊急に求められます。



### 国保負担増のモデルケース

① 年金所得世帯	男性 65歳	年金収入 200万円	女性 63歳	収入 0円
(現行)		年 87,100円	(改正後)	年 108,000円
			(負担増)	20,900円
② 4人世帯	男性 45歳	事業所得 292万円	女性 45歳	専業主婦
		子ども2人(18歳未満)	収入 0円	
(現行)		年 421,100円	(改正後)	年 500,400円
			(負担増)	79,300円

## 介護保険料も同時値上げ ⇒ 基準額で4,200円アップ

基準額が適用されるのは、所得段階が下から第1~第13段階のうち、第5段階の人

## 能登半島地震の教訓 巨大地震対策は十分か

福田かつお議員は第1回定例会の一般質問で能登半島地震を教訓に四つの質問をしました。

福田議員は、第一に、被害想定を見直し、想定避難者数を適正に算出するように求めました。備蓄も水や食料だけでなく、仮設トイレ・携帯トイレ・簡易トイレ(箱型)や生理用品等の備蓄も見直すよう求めました。入浴支援として、民間の入浴施設、ホテルや旅館等との事前協定を提案しました。また、ジェンダーの視点にたった避難所の確保を求めました。小学生からお年寄りまで誰でも分かる避難マップの作成と、自治会の組から班ごとの避難訓練の実施を提案しました。

第二に、能登半島地震では1981年の耐震基準導入後に新築された住宅でも全半壊があることから、改めて住宅の耐震強度の調査と耐震改修補助事業の拡充を求めました。「被災者生活再建支援金」は全壊世帯には国から最大300万円が支給されるが、金額が不十分な上に準半壊や一部損壊には支給されないとして、市独自の被災者生活再建支援金について質しました。

第三に、能登半島地震では水道管が甚大な被害を受けたことから、土浦市の上下水道



能登半島地震で倒壊した家屋(時事)

の耐震化計画を前倒して実施するよう求めました。

第四に災害対策本部と避難所運営に女性スタッフを増員するよう求めました。避難所への物資の補給、輸送基地、仮設住宅設置地域については、市内8中学校区単位に、設置現場を事前に確保しておくよう求めました。



一般質問をする福田議員(3月12日)

## 福田かつおの 議会報告

## 国保税値上げでなく負担軽減を

福田議員は、市による国保税値上げの提案に対して、値上げせず、むしろ軽減するよう求めました。食料品・生活必需品・電気・ガスが軒並み値上げされ、市民生活に重い負担がかかっています。これ以上国保税が引き上げられれば、払いたくも払えず、その結果、医療機関にカカれない人が増えま

す。福田議員は、国保財政安定化基金を活用して、毎日の生活がぎりぎりのところで頑張っている市民を一人も取り残さないよう求めました。これに対し、羽生元幸保健福祉部長は、「一般会計から3億3千万円、国保特別基金から9億9千万円補填している。今後は国の援助がなければ困難になると、答弁しました。

## 神立駅エスカレーターの進捗を問う

福田議員が昨年の6月議会で神立駅のエスカレーター設置を求めた際、市執行部は「調査・研究したい」と、答弁していました。福田議員は、その後の進捗について

質問しましたが、塚本隆行都市政策部長は、「20人乗りの大型エレベーター設置で対応している。エスカレーターは今後の乗降客の推移をみて判断したい」と、答えるに留まりました。

発行: 日本共産党土浦市議団  
市政や活動へのご意見ご要望をお寄せください

困りごとと生活相談随時受付

土浦市永国 851  
TEL 921-5778 FAX 921-5757

日本共産党  
土浦市議団ニュース

2024年4月号

古沢よしゆき市議  
中 694-5 TEL 090-4707-3616  
furu-yoshiyuki@kba.biglobe.ne.jp

福田かつお市議  
神立東 1-24-2 TEL 090-3537-2632  
ibkf4425@sky.plala.or.jp

# 学校体育館に空調設備を 災害避難場所としても喫緊の課題

## 福田かつおの 議会報告

気象庁の予想では今年の夏は高温。文科省、環境省からの通達で、熱中症は新たに自然災害と位置づけられ、小中学校の熱中症対策は待たなしです。地震や豪雨災害時に体育館は避難場所にもなります。

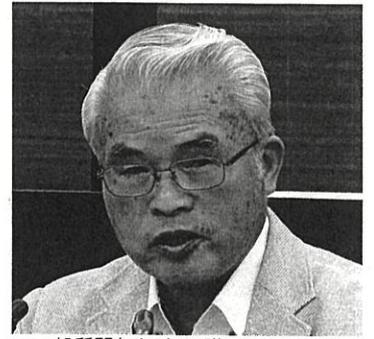
福田議員は学校体育館への空調設備に対する国の財政措置を使って土浦市内小中学校23校の体育館の空調設備を整備するよう質問しました。

加藤史子教育部長は答弁で、市内の小中学校の教室には空調設備の設置は済んでいる



熱中症対策として、体育館に空調を設置する自治体が相次いでいると報道するNHKニュース

が、体育館については、空調設備だけでなく断熱処理が必要なため、国からの交付金を使用する予定で、断熱工事と空調工事に使える交付金を組み合わせて国への予算要望を行うこと、現在はモデル校で断熱工事を含む工事を行い、その結果から予算化を検討し進めると述べました。



一般質問をする福田議員=6月10日

## 生涯学習館は閉館するな 地域コミュニティ活動の拠点 105団体が利用

市は生涯学習館など公共施設の閉館を検討しています。しかし、地域コミュニティ活動の中心的施設として利用されている施設があります。福田議員は関係団体としっかりと協議を重ね、閉館ありきではなく、継続する方向で検討するよう求めました。

山口正通市長公室長は答弁で、築50年以上の施設の老朽化、耐震対策の不十分さ、人口減少という調査をもとに、市では2055年度までに施設の30%の延べ床面積を削減する方針を立て、生涯学習館は2024年度末に閉館を予定しているとした。



閉館が予定されている生涯学習館（写真左）と青少年の家（写真右）



### 閉館や機能移転が検討されている主な公共施設

施設名	配置方針
生涯学習館	閉館し近隣施設に機能移転
勤労青少年ホーム	閉館
青少年の家	閉館
上大津支所	閉所
荒川沖東部地区学習等共用施設	地元への譲渡(移管)
老人福祉センター湖畔荘	適正配置の検討
つくし作業所	つくしの家への移転・集約
療育支援センター	集約場所の検討

## トイレ・遊具・ベンチの補修急げ 木田余東台中央公園



木田余東台中央公園のトイレ

福田議員は木田余東台中央公園のトイレのドアが壊れ補修が必要なこと、劣化が進むベンチ・遊具の取りかえについて質問しました。トイレに

ついては防災時にも耐えられるトイレの設置を求めました。答弁した飯泉貴史都市政策部長からは、この公園は木田余東地区におけるシンボリックな公園ととらえており、遊具については年に1回有資格者による点検、トイレ・ベンチなどについては職員による日常点検を行い、適時修理を進めていくとの回答がありました。トイレ、ベンチ、遊具等の取り換えについては、実施に向けてこれから地元住民との協議に入るとしました。

## パートナーシップ、ファミリーシップの周知と対策を

福田議員は、巨大地震対策などの緊急時に対応する「連絡調整会議」の設置や、子どもの権利条約を子どもたちに学び伝えること、性的少数者の権利を守ることなどについても質問し、市の見解をもとめました。

その中で、多くの自治体が性的少数者のパートナー関係を認める「パートナーシップ制度」の導入や、ファミリーシップ宣言ができるようにしていることについて、福田議員は市の「先進的な対策」を求めました。

水田和弘市民生活部長は、県が実施している茨城パートナーシップ宣誓制度を広く知らせ、家族同様に取り扱いを受けられること、宣誓制度を利用した人々を市営住宅の入居や補助金の「交付を可能」にしていることを報告。今後、「周知啓発を継続し」、「さまざまな施策を展開したい」と答えました。

# コミュニティ「つちまる号」実証運行から3年 AI活用デマンド型で1時間1便の運行を

2024年度の補正予算や条例を議論する今年度第2回定例会(6月4日~20日)が開かれ、日本共産党は6月10日、福田勝夫、古沢喜幸両議員が一般質問に立ちました。古沢議員はコミュニティバスの運行改善や、統一協会への公共施設の貸し出し、スマートインターチェンジの設置などについて質問。福田議員は学校体育館の空調設備の設置や子どもの権利条約、木田余東台中央公園の整備などについて質問し



## 古沢議員 市の姿勢ただす

古沢議員はコミュニティバス「つちまる号」の運行改善について行政の姿勢をただしました。

「つちまる号」は2021年10月から中村南・西根南地域のコースで運行を実現。翌年の10月には、右粕地域で運行を開始しました。23年10月には、乙戸南地域で運行開始の予定でしたが、運転手不足のため、現在も運行が中断しています。

高齢化が進むなか、住民からは「1時間に1便の運行を」「私の地域にも走らせて」など、使いやすく、誰でもが利用できるよう改善を求める切実な声広がっています。

古沢議員は一般質問で、こうした住民の願いに応えるためには、現在の「2時間に1便」を「1時間1便」に改善することが最大のポイントであることを強調。そのためには、定時定路線の運行方式を、AI(コンピューター)を活用したデマンド型へ代えるよう提案しました。

古沢議員は、AIを活用したデマンド型に代えれば、電話やスマートフォンで予約し、予約がある停留所だけを回る、効率の良い運行ができるとして、変更を強く求めました。

飯泉貴史都市政策部長は、運行前の住民アンケートでは定時定路線を望む声が多かったことを強調。「AIを活用したデマンド型への運行を含め検討したい」と答えました。

古沢議員は、日本共産党が右粕地域コースの運行前に行ったアンケート調査では、「使いやすさ」から予約制のデマンド型を望む声は58%を占めていたことを示し、住民の要望の実現と理解が得られるよう、



一般質問に立つ古沢議員=6月10日

## 古沢よしゆきの 議会報告

## 旧統一教会 留学生集め弁論大会 公共施設の貸し出し 問われる市の責任

旧統一協会のダミー団体「世界平和女性連合」が、この夏、信者を増やすために女子留学生を対象にした日本語弁論大会を全国的に開くことが明らかになっています。

「過去に公共施設を利用させたことはあったか」との古沢議員の質問に塚本哲生総務部長は、2013年と15年に土浦市の公共施設を貸し出し、さらに今年7月13日にも公共施設を貸し出して弁論大会を開催することになっていることを明らかにしました。

塚本総務部長は、「仮予約で審査中」として、公共施設名は明らかにせず、「公共施設は市民に開かれているもの」なので拒めない」と答弁しました。

古沢議員は「旧統一協会がどれほど多くの

人々を苦しめてきたのか」と指摘し、自治体が旧統一協会に手を貸すようなことはしてはならないとのべて、貸し出しを取り止めるよう求めました。しかし、塚本部長は「審

## 土浦市に メリットのないスマートIC「取り止めよ」

9億円超の無駄遣いだと、3月議会でも「取りやめ」を求めた常磐道スマートインターチェンジ(IC)の設置問題を、古沢議員は引き続き取り上げました。

スマートICの設置予想場所について、つぐば市民からも「土浦市はあまり関係がない。使うのはほとんどつぐば市民だ」と指摘する声があることについて、どう思うか

査中」を繰り返しました。

古沢議員は「市の態度が問われる」として安藤市長の答弁を求めましたが、最後まで応じませんでした。

旧統一教会 教祖・文鮮明と教義を熱狂的に信じる集団。高額な献金や金銭を巻き上げる霊感商法、集団結婚式などで、社会的批判を浴びている。

と質問。飯泉都市政策部長は、事前に行った95社を対象にしたアンケートでは、90%が「利用したい」と答えていると報告。古沢議員は、事業者へのアンケート結果の資料を提供するよう繰り返し求めました。

古沢議員は、スマートICを設置しても「交通の便は良くなるが、何のメリットもない」と指摘、取りやめるよう強く求めました。

発行: 日本共産党土浦市議団  
市政や活動へのご意見ご要望をお寄せください

困りごと生活相談随時受付

土浦市永国 851  
TFI 821-5778 FAX 821-5757

日本共産党  
土浦市議団ニュース

2024年6・7月号

古沢よしゆき市議

中 694-5 TEL 090-4707-3616  
furu-yoshiyuki@kba.biglobe.ne.jp

福田かつお市議

神立東 1-24-2 TEL 090-3537-2632  
ibkf4425@sky.plala.or.jp

## 患者受入れ困難に市民の不安広がる 医療センター・協同病院の医療体制の維持を

福田議員は、土浦市の中核病院である霞ヶ浦医療センターが、今年から消化器内科や外科、脳神経内科が外来だけになり、診療体制が縮小されて患者が困っていること、また、土浦協同病院についても、なめがた地域医療センターがしたことなどから、今まで通りの患者受け入れが困難になり、大きな負担がかかっていることなどを指摘。安定した医療体制を維持できるかどうか、市民の中に不安が広がっているとのべ、早急な市の対応を求めました。



福田かつお議員

これに対して安藤真理子市長は、両病院は本市に欠かせない「要の病院」であり、これまでも財政的な支援を行ってきたことを強調。市長就任後と、この5月にも国立病院機構本部へ出向いて霞ヶ浦医療センターの医療施設の整備や医師の確保などを要望してきたとのべ、事態打開へ「何度でも足を運び要望したい」と強い決意をのべました。



霞ヶ浦医療センター



土浦協同病院

## 小中教員、疾患9人、欠員10人のまま 教員の多忙化、土浦でも患者が多数 教員の定数増と業務削減を求める

公立小中学校の教員の長時間勤務と教員不足の問題について、福田議員は「教員の多忙化は、一向に解決されていない」として、土

浦市の健康管理や病気の事態について報告を求めました。

答弁に立った入野浩美教育長は、小中学校の教員のうち4月1日以降、1か月以上の療養診断を受けた教員数は9人。そのうち身体疾患者は5人、精神疾患患者は4人で、9月1日以降、4人が復帰しているとのべました。

また、教員の産休や教員の応募者数が少ないことなどから欠員が生じ、教員が未配置なのは、小学校が5校で7人、中学校が2校で3人合わせて10人が欠員のまま。土浦市でも、教員不足や多忙化は影響を受けていることがわかりました。

こうした事態への対処として入野教育長は、学校サポーターとして、273人の外部人材を配置するなどして、一定の成果を上げてきたことを強調しました。

福田議員は、教員の定数を増やして業務量を削減することや、教員の時間外・休日の労働を勤務と認めて手当てを支給すること、必要なサポート体制を確立することなどを求めました。



登校する生徒たち(市内小学校)

## 家計を圧迫する国保料 「均等割」の全額免除を！

福田議員は、非正規労働者や自営業者、高齢者などが加入する国民健康保険料が家計を圧迫している問題を取り上げました。国保料の負担が重い要因として、家族が多いほど高負担を強いられる「均等割」があることを指摘。これは子育て支援に逆行するものあり、取手市などのように18歳以下は全額免除にしよう求めました。

土浦市は、高すぎる国保料について、これまで財政調整基金から繰り入れて抑えてきましたが、基金が枯渇すると見込まれ、今年度から値上げとなっています。

18歳以下の「均等割」について、土浦市は半額免除をしています

が、全額免除について羽生元幸保健福祉部長は「基金には限りがあり、国に対して5割軽減の対象者と軽減割合の拡大を要望している」とのべました。

## 若者の知恵と力を生かして

福田議員は、土浦駅西口の空き店舗について、高校生や学生たちの若い知恵と力を生かし、くつろげる場所や料理店の店にするなど、有効活用するよう提案をしました。

塚本隆行産業経済部長は、この間、店舗家賃の2分の1補助などの事業を進めてきたものの、令和5年度の時点で中心市街地の空き店舗が72店あること。これまで、高校生や学生など、若い人ならではの意見や提案を聞き、実現したしたものもあるとし、今後も若い人たちの意見を参考に街の活性化に取り組んでいきたいとのべました。

土浦駅東口の立体駐車場についても、若者たちの力を借りながら、屋上を人気のスポーツ、スケートボードの練習場にするなどを提案。飯泉貴史都市政策部長は騒音問題もあり「慎重な判断が必要。調査・研究したい」と答えました。

## 神立東一丁目の道路拡幅工事、早期完成を

現在、整備中の神立駅東口地域の道路拡幅工事について福田議員は、近隣市町からの広域道路でもあることから、完成を急ぐよう求めたのに対し、渡辺善弘建設部長は、令和9年度末が完成予定とのべ、「全力をあげたい」と答えました。



# 令和6年第3回土浦市議会定例会 議会報告

土浦市の9月議会(3~25日)が開かれ、日本共産党からは福田かつお、古沢よしゆき両議員が9日、一般質問に立ちました。福田議員は、市の医療体制の充実や教員不足の問題などを取り上げ、古沢議員は水道問題やスマートインターチェンジ設置などについて追及しました。

## 使ってもいない水道水に74億円も過払い 県による過大な人口の”押しつけ”が原因

古沢議員は、土浦市の水道事業について、茨城県との間で交わしている過大な契約水量により、年平均約2億6500万円、36年間で74億円超の過払い金を払い続けていることを明らかにし、「強引に誘導したと思われる県に対し、契約水量の是正を強力に求めるよう市の姿勢をただしました(下図参照)。



古沢よしゆき議員

古沢議員はその原因は過大な人口想定にあると指摘。「第2回総合企画審議会」(県職員も参加)で昭和60年の人口を13万6937人(実績は12万175人)と想定、ところがその後5ヶ月で3回の審議を経て16万人に変更されたとし、こうした一連の経過から「県の強引な誘導によって決められたのではないかと追及しました。

山口正通市長公室長は「(県職員の審議会参加の)事実記録に残っていなかった」と強調しましたが、古沢議員が県・市の策定文書に基づいて指摘したずさんな人口想定などには一切異論を挟むことはできず、過払い金の事実を認める形になりました。

### 本気で県との値下げ交渉を!

渡辺善弘建設部長は、県との値下げ交渉は毎年行っているとしながらも交渉経過の説明はなく、契約内容の異なる県南8団体での意見交換を踏まえての要望活動であるとしました。古沢議員は県との交渉を記者会見で発表するなどして、社会に訴える取り組みを強めるよう求めました。

### 茨城県、一県一水道事業を提案 水源開発と人口減少のツケを回すな!

古沢議員は、県が一県一水道事業をめざしていることを取り上げました。この計画は、①水源開発や人口減少のツケを市町村住民に回すことになる、②効率優先のため、地域事情を考慮した給水設備

や災害対策に有効な地下水の利用を止めようとしている、③組織や設備の一本化で民営化が危惧される、などの理由で、一県一水道事

道事業に反対する立場で質問しました。

渡辺建設部長は、地下水の活用は災害時に有効な水源であるとの認識を示し、民営化は県に確認したがその考えはないとのこと、土浦市は今年中に回答すると答弁しました。なお、水戸市はすでに不参加を表明しています。

### 実施アンケートは推進の根拠になり得ず 不要不急のスマートICは中止を!

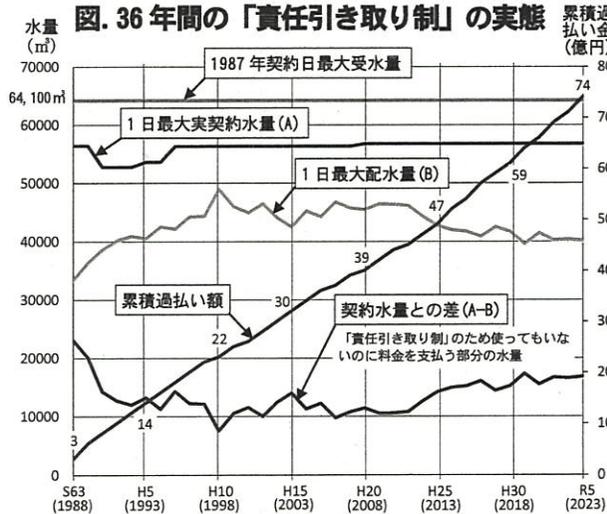
スマートICの建設について、古沢議員は小規模で対象者が偏っており、正確な評価ができないアンケート結果(94社のうち47社が回答)だと指摘。回答の2割が「新規立地や設備増強を検討したい」であったことをもって「関心の高さがうかがえる」としているが、「検討する」は曖昧であり推進の根拠にはなり得ないとして、拙速な進め方は止めるよう求めました。

「スマートIC」は、現在の「桜土浦IC」(右写真)より、わずかに2~3km水戸方向に走った所に設置が計画されています。



### 穴塚大池周辺が再び開発か

自然保護団体が「穴塚大池周辺の開発か」と危惧しているとの質問に、飯泉貴史都市政策部長は開発候補地に入っていることを認め、環境に配慮して進めると答弁しました。しかし、以前より業務用地での開発という経緯があるだけに、今後の動向を注視する必要があります。



県との間で契約している1日当たりの最大配水量(責任引き取り制)は、昨年度の場合、5万6700立方メートル。実際に配水されたのは4万27立方メートルなのに、使っていない1万6673立方メートル分も支払わなければなりません。

## 日本共産党土浦市議団 市議団ニュース

連絡先: 土浦市永国 851 市政や議員活動へのご意  
TEL 821-5778 FAX 821-5757 見、ご要望をお寄せくだ  
さい

困りごとと生活相談随時受付

古沢よしゆき市議 中 694-5 TEL 090-4707-3616  
furu-yoshiyuki@kba.biglobe.ne.jp

福田かつお市議 神立東 1-24-2 TEL 090-3537-2632  
ibkf4425@sky.plala.or.jp

# 令和6年第4回土浦市議会定例会 議会報告

12月議会は3～19日に開催、日本共産党からは福田かつお、古沢よしゆき両議員とも9日、一般質問に立ちました。福田議員は市独自の食料自給率向上や不登校児童・生徒の現状と健康診断について、古沢議員は常名運動公園計画、東城寺採石場跡地の開発について質問しました。

## 常名運動公園計画 市政最大のムダづかい

### 32年間も空地で放置、投入した税金は100.7億円強 共産党は計画中止、市民の英知を集め用地の有効利用を要求

常名運動公園計画は、1992年(H4年)より用地買収に着手しましたが、地権者の同意が得られず買収率は93.3%にとどまっています。用地中央部分が虫食い状態で32年間も放置され、全く見通しが立っていません。これまで投入した税金は昨年度末で約100.7億円を超え、市民の血税がたし流しになっています。



古沢よしゆき議員

日本共産党は計画中止と買収地の有効利用を求めてきましたが、今回古沢議員は、「リゾート計画」は川口グラウンドの代替地を常名運動公園にすることが大前提であり、「リゾート計画」が消滅した時点で「常名運動公園計画」は中止すべきであったと追及しました。



常名運動公園計画地 (古沢作成)

## バブル崩壊・リゾート計画衰退でも用地買収

1980年代前半のバブル経済に乗じて土浦市でも霞ヶ浦湖畔リゾート計画を立ち上げ、川口運動公園を中心とした地域を優先開発地域に位置付けました。調査報告書では川口グラウンドの老朽化、狭隘化、野球場の収容人数の少なさを強調しています。調査報告書が平成元年(1989年)に発行された2年後、バブル経済が崩壊したにもかかわらず、「常名運動公園計画」の基本構想が策定され、翌1992年(H4年)に用地買収が開始されました。「常名運動公園計画」は、

「リゾート計画」が指摘した野球場を大幅に拡大する内容(右図参照)であり、川口グラウンドの代替えと受け止められました。

常名総合運動公園計画	
総面積	271,118m <sup>2</sup> (東京ドーム約5.8個分)
東京ドーム(建築面積)	46,775 m <sup>2</sup>
野球場	メイングラウンド(3万人収容) サブグラウンド
他の施設	陸上競技場、体育館、サッカー場など
予算内訳	地方債111億円、一般財源103億円

## 川口運動公園周辺開発構想から 密かに「リゾート」の言葉が姿消す

1993年(H5年)作成の「川口運動公園周辺地区開発基本構想」では、「リゾート」という言葉が姿を消しました。すなわち、川口グラウンドはそのまま存続し、代替えのグラウンドは不要になったのです。

飯泉貴史都市政策部長は、この基本構想でリゾート計画が頓挫したことは認めたものの、代替えという考えはもともとなく、「常名運動公園計画」に基づいて進めていると強弁しました。

しかし、2000年(H12年)市は事業計画の見直し、常名運動公園の施設内容を下図のように大幅に変更しました。この鳥瞰図はインターネ



常名運動公園



川口運動公園

ットで公表(投稿名「常名運動公園 川口運動公園 新治運動公園-土浦市」)され、現在も閲覧可能です。計画の目玉であったメイングラウンドとサブ

グラウンド2箇所あった野球場は廃止されています。この経過からも「リゾート計画」と「常名運動公園計画」は川口グラウンドの代替で結びついていたことは明らかです。

## 「負の遺産」解消に市長の決断促す 市長「さらなる検討を進める」にとどまる

最後に、古沢議員は、この問題は4代の市長(箱根・助川・中川・安藤市長)がかかわり、30年以上たっても見通しが立っていない土浦市の「負の遺産」になっている。その解消のために真剣で本気の決断してもらいたいと迫りました。これに対して、安藤真理子市長は「さらなる検討を進めてまいります」の答弁にとどまりました。

## 東城寺地区の採石場跡地の開発 土浦の自然と貴重な景観を守るために

古沢議員は、10年前に業務委託報告書まで作成した東城寺地区の景観整備計画が中止された理由について質問しました。

飯泉都市政策部長は、侵入道路・上下水道施設の整備、事業予定区域(約23.9ヘクタール)の管理運営費がかかるが、民有地であることが問題であり、現時点では着手に至っていないと答弁しました。

古沢議員は、視察結果を画像で説明するとともに、自然保護団体がゲンジボタルの生息を確認、天体観測に最適地としていることを紹介しました。しかも、用地の地盤は岩盤で山としての価値はゼロであり、民間活力で財政負担を押さえて自然と貴重な景観を守るために再検討するよう安藤市長に答弁を求めました。

安藤市長からは、民有地でもあるので官民連携の可能性も探りながら調査・研究をしていきたいと答えました。



宝蔵山山頂

## 日本共産党土浦市議団

## 市議団ニュース

連絡先: 土浦市永国 851  
TEL 821-5778 FAX 821-5757

市政や議員活動へのご意見、ご要望をお寄せください

困りごとと生活相談随時受付

古沢よしゆき市議 中 694-5 ☎090-4707-3616  
furu-yoshiyuki@kba.biglobe.ne.jp  
福田かつお市議 神立東 1-24-2 ☎090-3537-2632  
ibk14425@sky.plala.or.jp

### 福田議員の一般質問

福田議員は、いま大きな問題となっている食料自給率の向上や子どもたちの不登校問題、巨大地震による液状化やトイレ対策、PFAS(ピーファス、有機フッ素化合物)問題、補聴器補助などについて質問しました。



福田たつお議員

### 食料自給率向上へ有機栽培の普及を 千葉県では学校給食に、後継者増も

食料の自給率の向上は、日本の農業のあり方や食料確保にかかわる大きな問題です。福田議員は、ウクライナ戦争などを原因とした戦後最悪の食糧危機のなか、日本は食糧自給率 38%、食料の6割を輸入にたよっている状況を指摘。土浦市で、食料自給率の向上を農政の柱にすえ、コメづくりで安定した生活ができるようにすべき、と求めました。

その一つとして紹介したのが、全国から注目されている千葉県いすみ市の有機栽培。同市は有機栽培を行う農家を支援し、おいしいコメをつくって学校給食で子どもたちに食べてもらい、喜ばれています。農家の後継ぎも誕生しているといいます。



コンバインで稲の収穫作業

福田議員は、茨城県でもつくば市やかすみがうら市、石岡市などで始まっており、「土浦市でも有機栽培の取り組みを考え、持続可能な支援をするように」「食料の自給率向上は待たなしの課題であり、農林水産課で音頭を取ってJA水郷つくばや農業委員会、農家、農民連などとタイアップ。来年を待たず本格的に動き出してほしい」と取り組みを強く求めました。

### 市「機運も高まっており、勉強会をしたい」

塚本隆行産業経済部長は、土浦市ではコメの有機栽培が取り組まれているが、「その機運は高まっており、他市町村の取り組みを参考に、勉強会をしていきたい」と答えました。

### 土浦市は増加傾向 小学217人・中学316人 居場所や保護者の支援が必要

増え続ける不登校の子どもたち。通いたくなるような学校にするためには「競争と管理」の教育を見直すとともに、子どもたちが安心して生活し、学べるための取り組みが求められます。

福田議員は、全国で不登校の児童・生徒が 41 万人(2023年度、文科省発表)を超え、過去最多を更新したこと。土浦市でも23年度、小学校で217人、中学校で316人いることをあげ、この深刻な現状をどう打開するか、6つの点について質問しました。

①親が気軽に相談できる窓口の拡充②子どもが自分らしく生きられる生活を大切に③子どもの居場所の確保と公的施設の拡充④フリースクールなどのへの公的支援⑤「親の会」などへ公的支援⑥子どもの健康管理と診断、心療内科医師への相談体制一などです。

入野浩美教育長は、土浦市の不登校の状況が「高止まりの状況にある」とし、学校の相談室には昨年で1920件の相談があって、増加傾向にあることを強調しました。

子どもたちの居場所としての「校内フリースクール」については「全ての中学校で設置を完了し今後、支援員の配置を段階的に増やしていきたい」と答えました。また「ポプラの広場」での保護者と相談員の茶話会などでは「子どもたちへの思いや悩みを伝え合う場所として、保護者の参加をうながしたい」とのべました。

福田議員は「一番苦しんでいるのは子どもたちです。子どもを信じて保護者、先生たちがさまざまな経験を生かし、支える態勢をつくってほしい」と強く求めました。



登校する生徒たち(市内小学)

### 巨大地震 液状化対策の啓発を

福田議員は、中小河川に囲まれた土浦市で巨大地震が起きた場合の液状化対策の啓発を、どのようにすすめるか、土浦市の取り組みの現状と対策を求めました。

塚本産業経済部長は、東日本大震災で液状化現象が市内7地で確認されていることや、ハザードマップをつくって市内全戸に配付したことを報告。今後も、多種多様な手段を用いて普及に努めたいとのべました。

福田議員は、被災時におけるトイレの確保やトイレトレーラーの購入について、国からの補助金を早く活用するよう要望しました。

### PFAS(有機フッ素化合物) 検査と緊急体制の構築を

人体や環境への有害性が指摘され、いま全国的な問題となっているPFAS(有機フッ素化合物)について、福田議員は土浦市の水検査で暫定目標値を下まわっているのか、どのような対策を考えているのか、質問しました。

渡辺善弘建設部長は、県が2021年から 48 河川、9つの井戸で調査を開始し、土浦市ではいずれも国が決めた暫定値未満であったと報告。水道水についても、昨年からは毎月検査されていて、「1定値を大きく下回っている」とのべました。今後については「国の動向を注視し、県とも情報交換し、市民への情報提供に努めたい」とのべました。

また水田和弘市民生活部長は、市内の地下水を利用する 17 工業団地の企業のうち9つで調査を行った結果、PFASは確認できなかったといいます。福田議員が、異常な検査値が出た場合の緊急体制を求めたのに対して「ただちに体制を取り、いつでも備えるようにしたい」と答えました。

### 補聴器補助の増額を求める

県内でもいち早く実施し、高齢者から喜ばれている補聴器補助(万円)。福田議員は、異常な物価高のおり、高齢者から「もう生活限界だ」との訴えなどがあつたことから、補助金の増額(2~3万円)を求めました。羽生元幸保健福祉部長は「増額予定はない」とのべ、「有効な制度は今後も継続していく」と答えました。



高齢者から喜ばれている補

### 福田議員の一般質問

## 霞ヶ浦のワカサギ漁 大打撃 水温2度も上昇!! 福田議員「逆水門の開放」を求める

一般質問に立った福田議員は、霞ヶ浦の漁業が大打撃をうけている問題を取りあげ、市の姿勢を質しました。

気候変動と水深が3～6mしかないことで霞ヶ浦の水温は上昇しやすく、23℃を超えるとワカサギの卵は育たなくなります。福田議員は、このままでは取り返しがつかなくなるとして、逆水門を開放し、還流した海水で水温を下げる対策を求めました。

これに対し水田和弘市民生活部長は、ワカサギ漁は2010年をピークに減少し、昨年はほとんど漁獲されていないとし、原因はワカサギが死に至る水温29℃超の日数が、一昨年49日、昨年は41日もあり、この36年間で2℃も上昇している異常気象にあるとしました。

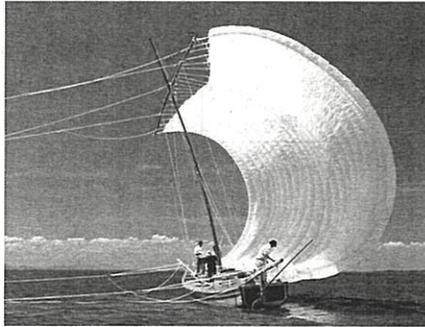
水田市民生活部長は、福田議員の提案である逆水門の一時開放について、「どのような影響を与えるか、定かでない」とし、管理者である国の動向を注視していくこと。県や関係

市町村と連携して霞ヶ浦の保全・再生につながるような取り組みをしていくと答えました。福田議員は「霞ヶ浦の導水事業では根本的な解決にはならない。再生のためには逆水門を開け、利根川の水を入れて水温を下げることを重ねて求めました。

〔逆水門：河川や湖の合流点に設置され、洪水などによる逆流を防ぐための水門〕



福田かつお議員



霞ヶ浦の伝統的な帆引き網漁

## 下水道の維持 管理へ作業技術者の育成を

埼玉県八潮市での陥没事故は、上下水道施設の維持管理の重要性が浮き彫りになりました。福田議員は、水道管の老朽化の点検、現場作業技術者の育成について質問し、対策の強化を求めました。

渡辺善弘建設部長は、水道管の整備状況は、2023年度末までに約905kmであり、そのうち耐用年数の40年を経過したのは251km(約28%)あること。23年に人工衛星で老朽化状況を確認することができ、その結果、老朽化の疑いがあるところは、今年度から調査を行っていることを報告しました。

緊急時に、水道本管のバルブを開閉する操作については、約1800カ所あり、「すみやかな開閉を行うことができるよう最新のデータを更新している」とのべました。

また福田議員は、水道事業にたずさわる現場作業技術者の育成をはかることに力をいれるよう要請。渡辺建設部長は「高齢化のなか課題となっている」「積極的にとりくむ」と答えました。

## EVバスの利用 住民の要望を聞いて

市が実証実験を行ってきたEVバスの運用について、福田議員は、高齢化にともない免許返納者の激増が予想され、EVバスを市民が利用しやすい公共交通にすることの重要性を問いました。とくに、住民の要望に応えた停留所の設置を強く求めました。

EVバスは低速で走る小型電気自動車で、神立地域などで実証実験を行っています。飯泉貴史都市政策部長は、市が鉄道やバスなどを補完する補助的な交通としてのキララバス、つちまるバス、EVバスの役割分担により、公共交通不便地域の解消にとりくんでいるとのべ、「停留所や運行ルートなど地元のみなさんと協議し、意向が反映されるようにすすめたい」と答弁。EVバスの実証実験は、今年度に総括を行うとしています。

## 市道の白線補修、市「順次施行する」

市道のセンターラインの白線など、塗装の劣化が目立つようになってきている状況について、福田議員は交通安全の立場から、とくに小・中学校周辺や、住宅団地内の白線などの塗装の補修を、ただちに行うよう求めました。渡辺建設部長は「安全な道路管理の

観点からも重要課題であり、順次施行したい」とおじました。

## 避難所交付金 市に申請求める

福田議員は、多発する自然災害に対して国が設けた避難所交付金(新しい地方経済・生活環境創生交付金)を、土浦市もただちに活用するよう求めました。この交付金は、避難所にトイレカーやキッチンカー、仮設入浴施設などを購入できる制度。補助率は2分の1で、限度額は4千万円。すでに、全国40道府県630市区町村が、交付金申請をはじめているといいます。

塚本哲生総務部長は「現時点では活用に至っていない」が、「財源確保は重要」「調査、研究していきたい」と答えました。

(古沢議員の代表質問のつづき)

## つくば霞ヶ浦りんりんロード 利用者はルート開通8年で2.6倍

古沢議員は、つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用者数とりんりんロードを含むサイクリング関連の投入事業費について質問しました。安藤市長は、つくば霞ヶ浦りんりんロードの2016年ルート開通時約4万8千人から2023年までに12万5千人へと右肩上がりに増えている。また、事業費総額は昨年度末までで約1億7千万円であると答えました。

## 第93回花火大会の中止について 延期日の警備体制の不備を反省

昨年中止になった花火大会について、古沢議員は市の対応を質し、損失額と市経済への波及損失額を求めました。

安藤市長は、延期日の警備体制が不備で安全が確保できなかったことを反省し、今後は万全な体制を整えるとのべました。大会の支出総額は3億千5百万円、内訳は実行委員会への補助金8千5百万円、作業が終了していた有料観覧席建設、仮設トイレ設置、会場芝刈り費に2億3千万円支払ったと報告。市としての経済効果は、多額の経済損出をもたらしたと考えている、と答えました。

令和7年第1回土浦市議会定例会  
議会報告

3月議会は4～25日まで開催、日本共産党からは、古沢よしゆき議員、福田かつお議員とも10日質問に立ちました。古沢議員は市政方針に

対し「TX土浦延伸」「スマートIC」など8項目の代表質問を、福田議員は「ワカサギ漁」や「EVバス」など5項目の一般質問を行いました。

「予算の財源不足は、過去に例を見ない金額」にもかかわらず  
ムダづかいの「スマートIC」「TX土浦延伸」に前のめり

安藤市長の市政運営方針

2025年の第1回市議会が4日開会、安藤真理子市長は「市政の運営方針と主な施策」を報告。冒頭、「喜ばしい発表」として、「巨額の無駄遣い」との批判もある、①常磐自動車道に新規事業・スマートICの設置が決定、②TXの土浦延伸の素案を県が発表一の2つをあげ、「自画自賛」しました。

一方、予算の財政不足が過去最悪なっているとして、「選択と集中による行財政改革」を進め、「夢のある、元気のある土浦」の実現へ、①子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育ち、②未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり、など、4つのリーディングプロジェクト(核となる事業)を説明しました。

新年度の予算規模は、一般会計が本年度より3.2%増の585億6千万円、特別会計が1.4%増の428億2千万円、総額1013億8千万円で2.5%増になっています。

古沢議員の代表質問

スマートIC周辺に工業団地建設  
水害対策のためかさ上げして造成

古沢議員は、IC(インターチェンジ)周辺への工業団地の建設は桜川の洪水被害のため無理ではないか。また、完成までの総費用及びつくば市との費用負担割合について質問しました。

これに対し安藤市長は、今年度は周辺道路の整備として県道土浦大曾根線との接続道路についても検討していくとして、周辺地域の開発を明言しました。総費用については、現在NEXCO東日本も含め関係機関と調整中であり、形状が定まるなか

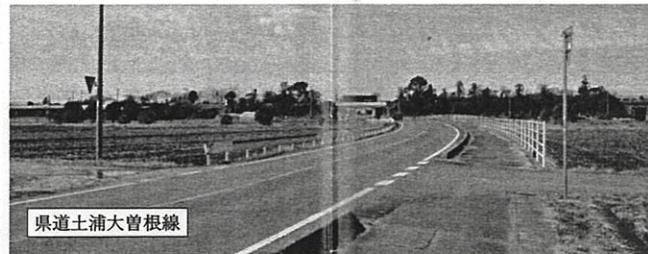


古沢よしゆき議員

で総事業費が決定する。つくば市との費用負担割合は、今後の詳細設計で算出される段階において協議していくと答えました。

再質問に立った古沢議員は、県道土浦大曾根線の飯田地区は、まさに洪水被害地域に当たり、開発は無理がある。周辺開発事業が成り立たない以上、スマートIC設置は止めるよう求めました。

しかし、飯泉貴史都市政務部長は、建設予定区域が洪水浸水想定区域に指定され、全体的に土地も低くて面整備の上で課題があるのは承知している。しかしながら、他の自治体において用地のかさ上げや避難場所等の対策を講じたうえで開発が進められている所もあるので、先行事例を参考にすすめるとのべました。



県道土浦大曾根線

工業団地建設が計画されている飯田地区  
正面高速道路をくぐると飯田地区の集落

TX土浦延伸 - 県の「素案」出る  
東京駅への延伸も土浦市民には役立たず

古沢議員は、つくば市と土浦市との人口交流は極め少なく、両市を結ぶバス便の利用者は1日2千人に満たないなど、TX土浦延伸では市の経済発展と市民生活の利便性向上につながらないとして、市の見解を求めました。これに対し安藤市長は、2月25日に発表された茨城県の延伸事業の素案に沿った説明を行ない、古沢議員の質問に

9分短縮でも運賃は490円アップ

再質問に立った古沢議員は、常磐線よりの乗客が土浦駅で乗り換えれば、「土浦-東京駅間」の乗車時間がJR常磐線より9分短縮するとしているが、運賃は逆に490円高くなり、乗り換える乗客は皆無に等しいのではないかと質しました。

これに対して、山口正道市長公室長は、古沢議員の指摘し問題点については全く答えず、本事業は市のみならず茨城県体に大きなメリットがあると強弁、負担費用についてはまだまだっていないとしました。

茨城県水道事業の広域連携  
県内の不参加は10事業体、人口割合47.7%

古沢議員は、昨年9月議会で県が進めている一県一水道では、市民生活は守れないとして参加しないよう求めているが、県へはどのような回答をしたのか質問しました。

安藤市長は、県に対して「検討中」の回答をしたことを明らかにしました。2月19日県が発表の集約状況(下表)を説明しました。市は昨年は前向きに検討するとしていましたが、その大きな水道事業体の上位3位が不参加を表明したことに影響を受け、慎重な姿勢に変化したものと思われれます。

県水道事業の広域連携への参加状況

広域連携に	参加	不参加	検討中	
事業体名	古河市、石岡市を含む20事業体及び栃木県野木市	水戸市 日立市 高萩市 北茨城市 つくば市	ひたち那珂市 神栖市 境町 東海村 県南水道企業団	土浦市 守谷市 下妻氏 常総市 坂東市 五霞町 潮来市 湖北水道企業団
	事業体数	21	10	12
	人口割合		47.3% (47.7%)注1)	

注1) カッコ内は茨城県だけの数字

(裏面へつづ)

日本共産党土浦市議団

市議団ニュース

連絡先: 土浦市永国 851 市政や議員活動への  
TEL 821-5778 FAX 821-5757 意見、ご要望をお寄せ  
ください  
困りごとと生活相談随時受付

古沢よしゆき市議 中694-5 In090-4707-3616 furu-yoshiyuki@kba.biglobe.ne.jp  
福田かつお市議 福立東1-24-2 In090-3537-24 ibkf4425@sky.plala.or.jp

納付書 兼 領収書

※当書類はインボイスに該当しますので、適切に保管してください。

令和 6年 4月17日 発行

受付番号 23-1356 許可番号 2024-0004-000055  
日本共産党土浦市議団 様

¥875-

但し令和 6年 4月20日(土)  
学習室2 (45名) 使用料として

領収日付印

上記のとおり領収しました。

<内訳>  
消費税 (10%)

79円

四中地区公民館長

会計 : 一般会計  
(款) : 14 使用料及び手数料 (項) : 01 使用料  
(目) : 08 教育使用料 (節) : 03 社会教育使用料

T4000020082031  
土浦市

納付書 兼 領収書

※当書類はインボイスに該当しますので、適切に保管してください。

令和 6年 9月24日 発行

受付番号 24-675 許可番号 2024-0004-000569  
日本共産党土浦市議団 様

¥875-

但し令和 6年10月 2日(水)  
学習室2 (45名) 使用料として

領収日付印

上記のとおり領収しました。

<内訳>  
消費税 (10%)

79円

四中地区公民館長

会計 : 一般会計  
(款) : 14 使用料及び手数料 (項) : 01 使用料  
(目) : 08 教育使用料 (節) : 03 社会教育使用料

T4000020082031  
土浦市

## 支出証明書

下記領収書については、政務活動費より支出したことを証明いたします。

### 記

#### 広報費

1/8 12月議会報告会会場費 2,420円

#### 事務所費

7/18 プリンター純正インク 3,839円  
(7,678円×50%にて按分)

12/7 プリンター純正インク 4,389円  
(8,778円×50%にて按分)

令和 7年 〇月 〇日

会 派 名 日本共産党土浦市議団

代表者氏名 古沢 喜幸



2E

施設利用許可書兼領収書

許可 2024-0011-001417 号

〒300-0012

茨城県土浦市神立東1-24-2

令和 7年 1月 8日

福田 勝夫 様

一般財団法人土浦市産業文化事業団  
理事長 小林 勉

次のとおり、土浦市公共施設の利用を許可します。

登録番号:T6050005002907

受付番号	24-1970	利用者番号	30172
施設	土浦市勤労者総合福祉センター（ワークヒル土浦）		
施設内の場所	研修室2		
利用目的 (行事名称)	議会報告会		
利用日時	令和 7年 1月 8日(水)13時00分 ~ 17時00分		
利用責任者	福田 勝夫		
利用人数	人		

出演者					
出演予定者数	2 / 人	入場予定者数	人	会場整理員	人

受付施設	土浦市勤労者総合福祉センター（ワークヒル土浦）
------	-------------------------

日付	施設内の場所	利用時間	利用人数	冷暖房設備	照明設備
1/8 (水)	研修室2	13:00 ~ 17:00			

支払済

利用料	基本利用料	冷暖房利用料	照明利用料
	1,760 円	- 円	- 円
	備品利用料	減免額	
	660 円	0 円	
	合計	2,420 円	

10%対象(税抜額) 2,200 円 | 10%消費税 220 円

# 日本共産党土浦市議団

# 議会報告会

日本共産党土浦市議団は12月定例会（12月3～19日）に臨み、福田議員、古沢議員とも9日に一般質問に立ちました。福田議員は「食料自給率の向上」「子どもたちの不登校問題」「巨大地震の液状化やトイレ対策」「PFAS問題」「補聴器補助増額」について、古沢議員は「税金ムダづかいの常名運動公園計画」「東城寺採石場跡地の開発」について質問しました。

両議員が行った一般質問の結果、並びに今後の課題について、合同報告会を来年1月8日に開催します。疑問やご要望をお聞かせいただき、みんなでまちづくりを考えていきたいと思ひます。どなたでも参加できますのでお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

# 1月8日(水)

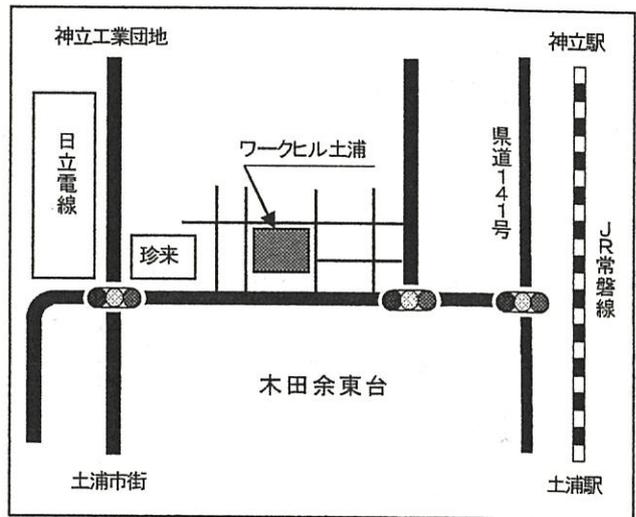
午後1時30分より

## ワークヒル土浦

(土浦市木田余東台4-1-1)

### 参加費：無料

※ マスク着用にご協力ください

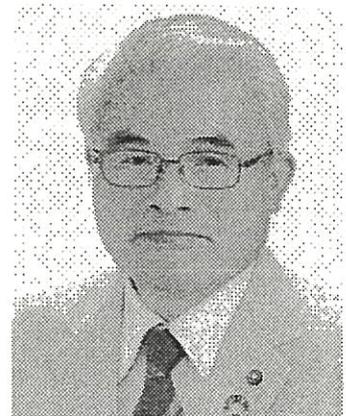


## みなさん 一緒に市政について 語りませんか お待ちしています



古沢よしゆき 市議

どんな問題でも結構です。意見交換ができればと願っています。



福田かつお 市議

### 土浦民報

2025年1月号外

発行／日本共産党土浦市委員会（土浦市永国851 TEL:821-5778）

日本共産党の見解を紹介します。

領 収 証

日本共産党 土浦市議団  
福田 勝夫 様

No. \_\_\_\_\_

★ ￥ 36,000 -

但 Rb 4月 ~ 12月 (9ヶ月分) 新聞代  
7年 1月 8日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

ASA土浦神立  
(有)佐藤新聞舗 支店  
〒300-0000 土浦市中央51-1  
TEL029-822-242 FAX029-822-1614

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

日本共産党 土浦市議団  
福田 勝夫 様

No. \_\_\_\_\_

★ ￥ 34,200 -

但 Rb 4月 ~ 12月 (9ヶ月分) 新聞代  
7年 1月 8日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

ASA土浦神立  
(有)佐藤新聞舗 支店  
〒300-0000 土浦市中央51-1  
TEL029-822-242 FAX029-822-1614

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

日本共産党 土浦市議団 福田 勝夫 様

No. \_\_\_\_\_

★ ￥ 23,400 -

但 令和7年1月 ~ 令和7年3月 朝日新聞・茨城新聞購読料とLT  
7年 3月 12日 上記正に領収いたしました 登録番号

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

ASA土浦神立  
(有)佐藤新聞舗 支店  
〒300-0000 土浦市中央51-1  
TEL029-822-242 FAX029-822-1614

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

日本共産党 土浦市議団 様

2025年3月22日

金額

¥ 38,550 -

但し 東京新聞 2024年4月 ~ 2025年3月分として  
上記の金額正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内 訳

税抜金額

消費税額等 ( % )

ASA 土浦

(株) 池田新聞舗

土浦市富士崎1-7-25 TEL 821  
FAX 823

登録番号: T905000 8

X50%

# 領収証

様

¥7,678-

2024年07月18日(木)

但し、商品代 ( )として上記に領収しました  
 ポイント利用 78円を含みます  
 消費税額 698円を含みます  
 (明細部分の\*印は軽減税率(8%)適用商品です)  
 株式会社ケーヨー ケーヨーデイズ 千代田SSJ店  
 TEL 029-834-8650  
 保管いただく場合は印刷面を内側に折って保管願います

130296-0007-0449  
 登録番号 T4040001002054

7,678 ÷ 2 = 3,839

— 令頁又言正日月糸田 —

2024年07月18日(木)16:13 じ"0007  
オツカ

016 キヤノン 純正インク ¥7,678

合計 ¥7,678  
 税合計 ¥698  
 (内10%対象額 ¥7,678)  
 (内10%税額 ¥698)

ポイント ¥78  
 現金 ¥10,000  
 お釣り ¥2,400  
 お買上点数 1点

-----ポイント情報-----  
 マイボID X  
 今回お買上ポイント 34  
 利用可能ポイント 211  
 会員ステージ 基本  
 ステージ保証期限 \*\*\*\*/\*\*/\*\*  
 DCMアプリ連携 なし

\*印は軽減税率(8%)適用商品です  
 ◆印は免税事業者の委託商品です

DCMの「マイボ」は、  
 ポイントカード DCMアプリがおすすめ!

ポイント確認

チラシをチェック





DCM株式会社  
 DCM千代田SC店  
 TEL 029-834-8650  
 登録番号 T7010701039115  
 お買い上げありがとうございます

# 領収証

2024年12月07日(土) 14:44 ｼﾞｼﾞ"0007

016 キヤノン 純正インク x504.

	¥8,778
<b>合計</b>	<b>¥8,778</b>
税合計	¥798
(内10%対象額)	¥8,778)
(内10%税額)	¥798)
現金	¥10,000
お釣り	¥1,222
お買上点数	1点

-----ポイント情報-----  
 マイボID X  
 今回お買上ポイント 39  
 利用可能ポイント 262  
 会員ステージ 基本  
 ステージ保証期限 \*\*\*\*/\*\*/\*\*  
 DCMアプリ連携 なし

8,778 ÷ 2 = 4,389

\*印は軽減税率(8%)適用商品です  
 ◆印は免税事業者の委託商品です  
 ★印:セルフレビュー税制対象商品。  
 DCMアプリでお買い物をご利用!  
 マイボ会員募集中!



ｼﾞｼﾞ-No5438

店No130296

# 新製品が安い KS ケーズデンキ

## お買上げ明細

2025年 3月 4日(火) 12時 6分

(1077000170247)  
会員番号 0110064402611

-<明細>-			
1 ●インクカートリッジ エプソン 4988617378247 IB07KA	・ 持帰	10%	1点
5%値引対象			¥1,463
-----			
2 ●インクカートリッジ エプソン 4988617378261 IB07MA	・ 持帰	10%	1点
5%値引対象			¥978
-----			
3 ●インクカートリッジ エプソン 4988617378308 IB07YA	・ 持帰	10%	1点
5%値引対象			¥978
-----			
4 使用済みインク値引き -----* 2098010128256 インク値引10% 3点	・ 持帰	10%	3点
			¥0
-----			
明細小計			¥3,419
値引			-30
6点/合計			¥3,389
税率別内訳 / 課税対象額 10%			¥3,389
(内消費税額)			¥308

[0111216-011001957-2310005006524]

## 領収証

2025年 3月 4日(火) 12時 6分

日本共産党土浦市議団 古沢喜平様  
金額 ¥3,389

(内消費税等) ¥308  
税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥3,389  
(内消費税額) ¥308

但し、お品代として  
上記金額正に領収致しました。

-<決済内訳>-	
現金	¥3,389
(内消費税等)	¥308
-----	
現金お預かり	¥10,009
お釣り	¥6,620

登録番号:T6050001000897  
株式会社ケーズホールディングス

ケーズデンキ土浦真鍋店

3389÷2 = 1694

日本共産党土浦市議団 領収証  
福田 勝夫 様  
但し、商品代( )として上記正に領収しました  
消費税額 798円を含みます  
(明細部分の\*印は軽減税率(8%)適用商品です)  
DCM株式会社 DCM千代田SC店  
TEL 029-834-8650  
保管いただく場合は印刷面を内側に折って保管願います

¥8,778-

マイボ  
登録番号 130296-0001-1184  
T7010701039115

2025年03月23日(日)

--- 領収証 正月月新田 ---

2025年03月23日(日)16:40 65"0001

016 キヤノン 純正インク  
¥8,778  
合計 ¥8,778  
税合計 ¥798  
(内10%対象額 ¥8,778)  
(内10%税額 ¥798)

現金 ¥9,000  
お釣り ¥222  
お買上点数 1点

-----ポイント情報-----  
マイボID XXXXXXXXXXX4722  
今回お買上ポイント 39  
利用可能ポイント 313  
会員ステージ 基本  
ステージ保証期限 \*\*\*\*/\*\*/\*\*  
DCMアプリ連携 なし

\*印は軽減税率(8%)適用商品です  
◆印は免税事業者の委託商品です

DCMアプリでお買い物を便利に！  
マイボ会員募集中！



ポイントNo1184

店No130296

8778÷2 =  
4389

